
PRESS RELEASE

ロンドン、2025年3月5日 06:00

プラチナ市場は構造的な不足：2024年は31トン、2025年は26トン、3年連続不足の見込み

- 2024年通年は31トン不足、2025年通年の最新予想は前回予想比57%増
- 2024年の総供給量は3%増、2025年は4%減の見通し
- 逆風の中で、2024年の自動車需要は97トン、2025年は96トン
- 2024年の宝飾品需要は8%増、2025年は2%増と6年ぶり高水準
- 上場投資信託（ETF）への堅調な資金流入と中国における大規模な地金需要を受けて、2024年の投資需要は77%増
- 地上在庫は2024年に23%減、2025年予想は25%減、需要の4か月分に満たない171トン

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル（WPIC®）は本日、2024年第4四半期の *Platinum Quarterly* と、2024年通年の総括を発表し、2025年予想を修正しました。

2024年通年のプラチナ市場は、総需要が2019年以来初めて258トンを上回ったため、31トンの大幅不足（前回予想比46%増）を記録しました。旺盛な投資需要（2024年第4四半期のETFおよび取引所在庫に約8トンが流入）と宝飾品需要の伸びにより、総需要は前年同期比5%増の258トンに達した一方、総供給量は前年同期比3%増の227トンに達しました。

2025年は3年連続の不足が予想されていますが、これも前回予想から拡大し、現在では26トンの不足が予想されています。2025年の需要は5%減の244トンになると予想されますが、依然として2020年以降の5年間の平均を大きく上回っています。一方で、総供給量は前年比で4%減少し、218トンになると予想されています。

2025年に鉱山供給は5%減少、リサイクル供給は急減の見通し

2024年の世界鉱山供給量は、南アフリカとロシアの予想以上の生産量に牽引され、前年比3%増の179トンとなりました。南アフリカでは仕掛品在庫の減少と、電力負荷制限を受けた生産抑制の緩和を背景に、生産量は前年同期比4%増の129トンでした。ロシアでは、溶解炉の修理が予定より早く完了し、生産量は21トンで安定しました。

2025年のプラチナ精鉱供給量は、北米のパラジウム関連の減少と、仕掛品在庫の放出が大幅に減少する見込みの南アフリカ生産量減少により、前年比5%減の171トンになると予想されています。一方、白金族金属（PGM）バスケット価格の低迷が続き、大幅な再編を余儀なくされるなど、下振れリスクも残っています。

2024年も世界のリサイクルは逆風に直面し、2013年の *Platinum Quarterly* 発行以来最低水準である1%減の46トンとなりました。2025年も、こうした逆風は続く予想されています。使用済み自動車触媒の供給制約が続いていること（世界的な登録抹消の増加を示すデータがあるにもかかわらず）、および宝飾品のリサイクルが一段と減少していることを反映して、リサイクル供給量は47トン（1%増）とわずかな増加にとどまると予想されます。予想されていた市場の改善が短期的には実現する可能性は低いとみなされるようになったため、2025年のリサイクル供給量予想が前回予想から9トン大幅に下方修正されたことは注目に値します。

全体として、2024年の世界プラチナ供給量は前年比3%増の227トン、2025年は4%減の218トンと予測されています。

地上在庫は2024年に23%減の105トンとなり、2025年にはさらに25%減少し、需要の4か月分弱に相当する79トンとなると予想されています。

自動車用プラチナ需要は、逆風にもかかわらず過去最高水準で堅調

2024年に、自動車用プラチナ需要は2%減の97トンとなりました。これは、内燃機関（ICE）とハイブリッド車の両方を含み、触媒を使用する小型車生産台数と大型車生産台数がそれぞれ2%と5%減少したためです。貨物輸送量の減少とトラック部門の過剰生産能力を反映して、大型車生産台数は2024年下期に低迷しました。欧州では、内燃機関を使用する小型車生産台数の減少がこれに拍車をかけました。北米、日本を含むその他の地域の自動車用プラチナ需要は前年比で増加しましたが、こうした減少を補うことはできませんでした。

2025年は、こうした課題のいくつかが継続するだけでなく、BEVの生産台数が前年比22%増と予想されていますが、自動車用プラチナ需要は1%減の96トンと、2020年以降の5年平均を大幅に上回る水準を維持すると予想されています。

宝飾品は2年連続で成長 - 2025年の需要は62トン超、6年ぶりの高水準

2024年の世界のプラチナ宝飾品需要は前年比8%増（4トン増）の62トンとなり、全地域で増加しました。インドは前年比31%増、欧州と北米はいずれも過去最高を記録しました。欧州および北米では、プラチナがホワイトゴールドに対してシェアを拡大しました。中国のプラチナ宝飾品需要は前年比1%増加し、2014年以降連続して減少していた需要がやや回復しました。

2025年の宝飾品需要は63トン（2%増）に達し、2019年以来初めて62トンを上回る見通しで、中国とインドではそれぞれ5%と7%の成長が見込まれる一方で、欧州と北米では過去最高を更新すると予想されています。プラチナと金との大きな価格差は、今後も需要拡大の主要な原動力となる見込みです。

循環的なガラス生産能力拡大が先細り、工業需要は縮小

2024年の工業用需要は前年比1%弱減の77トンでした。ガラス（29%増の21トン）、医療（6%増の10トン）、電気（5%増の3トン）、水素（92%増の1トン）の各セクターで増加しましたが、化学セクターでの減少を埋め合わせることはできませんでした。化学セクターでは、主に2019年から2023年にかけて実施された中国の石油化学産業における戦略的生産能力拡大が終了したことを受けて、需要は26%減の19トンとなりました。

2025年の工業用需要は14%減の66トンになると予想されていますが、これは昨年需要を大幅に押し上げた循環的なガラス生産能力拡大が先細りになると予想されることが主な理由です。化学需要は5%減の18トンとなる見込みで、石油（30%増の6トン）、電気（2%増の3トン）、医療（4%増の10トン）、水素（35%増の2トン）の各分野で成長が見込まれています。

2024年の投資需要は77%増、2025年も高水準を維持

投資需要は2024年に力強い伸びを示し、前年比77%増の22トンとなりました。貴金属市場が米国の関税発動をめぐる不確実性に起因する変動に反応したため、第4四半期には多額の投資資金が流入したことも、このようにパフォーマンスが押し上げられた一因となりました。2024年第4四半期は、主に米国を拠点とするファンドからの資金流入により、プラチナETF保有高は4トン増の103トンとなりました。一方で、ニューヨーク証券取引所（NYMEX）と東京商品取引所（TOCOM）/大阪取引所（OSE）の取引所在庫は、2020年第3四半期以降で最大である4トンが流入し、急増しました。2024年は、中国以外での地金およびコインへ

の需要はやや低調でした。中国では、500g以上の地金への需要が5トン（20%増）に増加し、地金およびコインの投資需要には引き続き堅調な伸びが見られました。

2025年の投資需要は、前年比14%減少するとはいえ、19トンと高水準を維持すると予想されています。ETF保有高は3トン、取引所保有在庫は5トンの増加が見込まれます。欧州と北米での改善（成長路線に復帰）や、すべてのカテゴリーにわたる中国の継続的な成長にもかかわらず、日本における売却が他の地域の増加を相殺するため、地金およびコインの需要はさらに軟化する見通しです。

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの Trevor Raymond（トレヴァー・レイモンド）CEOによるコメント：

「2024年もプラチナの年間ベースの不足が継続し、31トンとなりました。これは米国による関税に端を発した混乱に関連する投資フローを含んでいますが、その大部分は構造的なものです。自動車については、バッテリー式電気自動車の成長が鈍化し、内燃機関車の一段の高燃費・長寿命化がより広く評価されるようになったため、需要は堅調に推移しています。鉱山供給量の減少は続いていて、在庫放出の影響がさらに薄れるにつれて、加速する可能性があります。同時に、2024年は、かねてから予想されていたリサイクルの回復が実現しませんでした。リサイクルの水準は過去10年間で最低で、2025年も伸び悩み見通しです。

「2024年下期には、世界第3位の小売業者であるコストコが北米でプラチナの地金およびコインを販売したほか、中国では法定通貨コインの正規販売店である China Gold Coin Group がプラチナパンダとプラチナルナの両シリーズに加えて1kgのプラチナ地金を発売したことで、投資需要が高まりました。こうした画期的な発売を受けて、他のプラチナ製品への幅広い関心と需要の高まりがみられました。この影響は2025年も続くと予想され、構造的に供給が不足しているにもかかわらず、価格がまだ反応していない市場を無視することはますます難しくなるため、機関投資家の投資需要に大きな上振れリスクが加わることになります。」

「金価格がプラチナ宝飾品に恩恵をもたらしているため、プラチナ宝飾品は2025年に2年連続で成長し、全地域で増加する見込みです。過去最高値を記録している金価格の高騰により、小売用金宝飾品在庫がバランスシートを圧迫した結果、一部の在庫がプラチナに振り替えられています。これによって、宝飾品業者は資金調達コストを大幅に削減できるだけでなく、消費者がホワイトゴールドからプラチナに変更することの価格優位性を見出している市場で、プラチナを販売しやすくなります。」

プラチナ需給バランス (トン)	2021	2022	2023	2024:5年予想	2024年予想 2023 年成長率 (%)	2025年予想 2024年予想 成長率 (%)	2023年			
							第4四半期	第3四半期	第4四半期	
供給										
鉱山高	196	172	174	179	171	3%	-5%	48	45	48
南アフリカ	146	122	123	129	121	4%	-6%	36	33	36
ジンバブエ	15	15	16	16	16	1%	0%	4	4	4
北米	8	8	9	8	7	-8%	-15%	2	2	2
ロシア	20	21	21	21	21	0%	1%	4	5	5
その他	6	6	6	6	6	0%	0%	1	1	1
生産者製品在庫における増減 (+/-)	-3	+1	+0	+1	+0	+3	-100%	-1	-0	-0
鉱山からの総供給量	193	173	175	181	171	3%	-5%	47	45	48
リサイクル	65	56	47	46	47	-1%	1%	12	11	13
自動車触媒	50	43	34	35	35	1%	1%	9	8	10
宝飾品	13	12	10	9	9	-10%	-4%	3	2	2
工業	2	2	2	2	3	7%	7%	1	1	1
総供給量	258	229	221	227	218	3%	-4%	59	56	60
需要										
自動車	76	85	100	97	96	-2%	-1%	25	23	24
自動車触媒	76	85	100	97	96	-2%	-1%	25	23	24
ノンロード	†	†	†	†	†	NA	NA	†	†	†
宝飾品	61	58	58	62	63	8%	2%	15	15	16
工業	78	73	77	77	66	-1%	-14%	18	17	17
化学	20	21	26	19	18	-26%	-5%	4	4	4
石油	5	6	5	5	6	0%	30%	1	1	1
電気	4	3	3	3	3	5%	2%	1	1	1
ガラス	23	17	16	21	9	29%	-58%	5	4	4
医療	8	9	9	10	10	6%	4%	2	2	2
水素ステーションなど	1	0	1	1	2	92%	35%	0	0	0
その他	16	17	18	18	18	1%	-1%	5	4	5
投資	-0	-16	12	22	19	77%	-14%	-2	-7	11
地金およびコインの増減	11	8	10	6	6	-40%	-7%	2	2	2
中国における500g以上の地金購入	1	3	4	5	5	20%	8%	2	1	1
ETF保有高の増減	-7	-17	-2	9	3	N/A	-66%	-5	-9	4
取引所在庫の増減	-4	-10	0	2	5	244%	200%	-0	-1	4
総需要	214	201	246	258	244	5%	-5%	56	48	68
合計	43	29	-25	-31	-26	N/A	N/A	3	7	-8
地上在庫	133**	161	136	105	79	-23%	-25%			

出典：Metals Focus 2021 – 2025f

注記：

- ** 2018年12月31日現在の地上在庫 3,650 koz (Metals Focus)
- † ノンロード自動車需要は自動車触媒需要に含まれます

-終了-

メディア関連のお問い合わせ先：Elephant Communications
wpic@elephantcommunications.co.uk

編集者への注記：

『Platinum Quarterly』について

『Platinum Quarterly』は世界のプラチナ市場を四半期毎に分析するもので、独立した立場で実施され無料で提供される業界初のレポートです。『Platinum Quarterly』は、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル (WPIC) の刊行物です。WPIC が委託し、プラチナ金属市場の権威ある独立機関である Metal Focus が実施した調査と詳細な分析に主に基づいて作成されています。

World Platinum Investment Council (WPIC®、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル) について

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル（WPIC）は、現物プラチナ投資に関する世界市場の権威として、客観的で信頼できるプラチナ市場情報に対する投資家の方々の強いご要望を受けて設立されました。WPIC の使命は、行動可能な見識と目標を定めた商品開発を通じて、現物プラチナに対する世界の投資需要を喚起することにあります。WPIC は、南アフリカの主要プラチナ生産者によって 2014 年に設立されました。WPIC の加盟会社は、Anglo American Platinum（アングロ・アメリカン・プラチナム）、Impalats、Northam Platinum（ノーザム・プラチナ）、Sedibelo Platinum（セディベロプラチナ）、Tharisa、Bravo Mining and Podium Minerals です。

詳細は、ウェブサイト www.platinuminvestment.com をご覧ください

WPIC ロンドン事務局所在地：World Platinum Investment Council, Foxglove House, 166 Piccadilly, London, W1J 9EF

WPIC 上海事務局所在地：World Platinum Investment Council, Unit 1612, Shui On Plaza, No. 333 Middle Huaihai Road, Huangpu District, Shanghai, P.R.China

Metals Focus について

Metals Focus は、世界の大手貴金属コンサルティング会社の 1 つで、世界の金、銀、プラチナ、パラジウム、ロジウム市場の調査に特化し、定期レポートの発行、予測、個別のコンサルティング業務を行っています。Metals Focus チームは 8 つの法域に分散し、世界中の多数の情報源を網羅しています。これを活かし、Metals Focus は、貴金属市場に関する世界レベルの統計、分析、予測を提供することに特化しています。

詳細情報は、ウェブサイト www.metalsfocus.com をご覧ください。

プラチナについて

プラチナは世界で最も希少な金属の 1 つで、独特の物性を持つため、様々な需要分野において高く評価されています。プラチナ特有の物性および触媒活性は、工業利用においてその価値を確立しました。同時に、貴金属としての独自の特質を持つため、高級宝飾品にも使用されています。

プラチナには、主に鉱山での生産とリサイクルの 2 つの供給源があります。後者は使用済み自動車触媒と宝飾品のリサイクルによるものが主流です。過去 5 年間の年間プラチナ総供給量（精製済みオンス）の 72%~79%は、鉱山で生産されたものです。

世界のプラチナ需要は堅調で、ますます多様化しています。プラチナ需要の主要分野は、自動車、工業、宝飾、投資の 4 つです。

自動車触媒における過去 5 年間のプラチナ需要は、総需要量の 29%から 42%の間を推移しています

。自動車以外の工業分野におけるプラチナの多様な使用は、世界総需要量の 32%となっています（過去 5 年間の平均）。同様に、宝飾品における世界の年間総需要は、プラチナ総需要の平均 26%を占めています。投資はプラチナ需要の中で最も変動が大きく、過去 5 年間は総需要の-8%から 21%を占めています（投資家が保有する未公表の保有残高の変動を除く）。

免責事項

World Platinum Investment Council および Metal Focus のいずれも、投資に関する助言を提供するための規制機関による許可を受けていません。本書のいかなる部分も、投資に関する助言、証券もしくは金融商品の販売の提案または購入の助言を意図するものではなく、そのように解釈されるべきでもありません。投資を行う前に必ず適切な専門家による助言を受けてください。詳細は、ウェブサイト www.platinuminvestment.com をご覧ください